

実務経験のある教員等による授業科目の配置について(理学療法学科1)
2021.4.1現在

科目名	担当者	時間数	必修・選択の別	授業形態	配当年次	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
疾患別運動療法演習 切断	富久哲郎	30	必修	講義	3	病院、介護老人保健施設での臨床経験で得た、バイオメカニクスの知識と義足異常歩行の原因の特定方法について、具体例を紹介しながら授業を行う予定です。臨床で義足歩行に対して動作分析が行えるようになることを目標にしています。
疾患別運動療法演習 心疾患	中東大	30	必修	演習	3	急性期病院で働いた経験から、循環器疾患を持つ患者が実際どのような症状がみられるか、またどのような理学療法を行うのかを伝えていきます。そして過去に出題された国家試験にも触れ、できるだけ最終目標となる国家資格を意識できる授業にします。
疾患別運動療法演習 呼吸	宮澤幸児	30	必修	演習	3	理学療法士として呼吸関連は疾患としてだけでなく、人工呼吸器などの離脱でも理学療法士が関与することが多くなってきています。なるべく現場に即した講義にしていきたいです。理学療法士として3年以上実務経験を積めば、認定呼吸療法士の資格もあり、スキルアップして病院の中でも様々な患者さんと関わって幅広く活躍できるようになります。様々な疾患の呼吸器疾患の体験も含めながら講義していきます。
運動療法総論	富久哲郎	30	必修	講義	3	病院・介護老人保健施設での勤務経験で得た、呼吸・循環・代謝(ワッサーマンの歯車)のいずれかが障害された場合のリスク管理や評価方法、アプローチの原理・原則について、具体例を紹介しながら授業を行う予定です。
疾患別運動療法演習 神経・筋疾患	中東大	30	必修	演習	3	急性期病院、維持期病院、老人保健施設、特別養護老人ホーム、クリニック等で働いた経験から得た知識を活かし、教科書の知識だけでなく、実際の臨床ではどのような症状がみられるか、またどのような理学療法を行うのかを伝えていきます。できるだけ実技を多く行い、興味が持てる授業にします。
日常生活動作学・生活環境論	中東大	30	必修	講義	3	急性期病院(脳神経外科)、維持期病院で働いた経験から実際に疾患をもつ患者がどのような日常生活を送っているのか、また日常生活活動をどのように見ていくのかを伝えていきます。随時実技を取り入れ、伝えたいことを吸収しやすい授業にしていきたいです。
疾患別運動療法演習 脊損	水野靖廣	30	必修	演習	3	理学療法士として整形外科で実務経験がある教員が、まず脊髄の解剖学、生理学から講義します。基礎を理解してから自律神経過反射や異所性骨化、脊髄ショックなどの合併症を学び、ブラウンセカール症候群や脊髄空洞症などの評価、病態を解説していきます。最後は損傷高位による生活動作から知識を深めていきます。また、講義内にて確認テストを実施します。この確認テストは成績評価の一部となりますので普段からの授業を大切にしてください。
疾患別運動療法演習 整形	村田薫克	30	必修	演習	3	大学病院、整形外科クリニックでの実務経験を活かし、運動器障害に対する評価・治療やリスク管理について具体的な事例も提示しながら、実技を含めた授業を進めていきます。
動作分析学	宮澤幸児	30	必修	演習	3	スポーツ現場に10年以上関わってきました。理学療法士は動作分析のスペシャリストです。この仕事は他の職種ではできません。スポーツ選手の復調に当たり、身体のパフォーマンスや移乗動作をいち早く発見することで多くの患者やアスリートが救われます。今現在、健康志向が日本でも広がっています。少しでも世の中に貢献できる理学療法士になれるように、これまでの経験を少しでも皆さんへ伝えることができるようにします。現象から推論して一緒にディスカッションできるようにしましょう。
検査・測定法 I (演習)	村田薫克 宮澤幸児	30	必修	演習	3	宮澤 臨床経験で学んだことを含めながら、より実践的に実技も含めて指導していこうと思います。関節可動域などは動いていけば良いのではなくどう動くのかをとらえるのが大事です。お互いに疑問に思ったことはすぐに口に出しながら疑問を少しでも解決できるように実施しましょう。村田 大学病院、整形外科クリニックにて勤務した経験を活かし、特に急性期や整形外科領域の疾患の経験を伝えながら、臨床に即した実践的授業を行いたいと考えます。特に変形性関節症患者に行う検査では、正常者を行うのとは全く異なって難しくなります。そのような現場での難しさも伝えながら一緒に勉強しましょう。
理学療法概論 研究法	村田薫克 宮澤幸児 中東大 富久哲郎 水野靖廣	30	必修	演習	3	理学療法の分野でも自分が研究したことを世の中に出していくことは非常に大切な経験と財産になります。簡略化されている部分もありますが、伝える方法を少しでも学べるようにしていきますので頑張って授業を進めていきましょう。
合計		330		時間		

実務経験のある教員等による授業科目の配置について(作業療法学科)
2021.4.1現在

科目名	担当者	時間数	必修-選択の別	授業形態	配当年次	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
作業治療学Ⅲ(発達障害)(講義)	吉田準	30	必修	講義	3	青年海外協力隊で約2年に渡って身体障害を持った小児対象の教育施設(小学校)で、二分脊椎、筋ジストロフィー、脳性麻痺の子供たちに対して行った体験を授業を通じて伝えていきたい。
作業治療学Ⅳ(老年期障害)(講義)	藤野頼貴	30	必修	講義	3	認知症治療棟・重度認知症デイケア・訪問看護からのリハビリテーション・デイサービスにて勤務し、認知症をはじめとする高齢者へのリハビリテーションに従事してきました。また地域などでも認知症カフェ等での講師を行ってきた為、医学的リハビリテーションのみならず、予防領域においても地域包括ケアシステムの一役を担えるように授業を展開します。
生活環境論	藤野頼貴	30	必修	講義	3	訪問看護ステーションからの作業療法業務に従事し、福祉用具業者と連携し難病や中枢神経疾患患者の福祉用具の選定や、骨折術後患者退院前訪問などによって住宅調整を行ってきました。ソーシャルキャピタルへの取り組みとしても、認知症サポーターの育成や認知症カフェの運営などを行ってきました。実際の福祉用具の活用方法など実技を交えながら授業を実施します。
医学情報処理学	中村千紘	30	必修	講義	3	整形外科、老人保健施設において、身体障害領域のリハビリや整形外科、認知症の方々のリハビリテーションを担当していた。その経験を活かし、画像診断と症状を結び付けることに加え、心電図についての講義を実施する。
作業治療学Ⅰ(身体障害Ⅰ)(実習)	吉田準	45	必修	実習	3	実際に中枢神経障害の患者さんや、関節リウマチ、骨折などの疾患、外傷を負った患者さんに対して現場ではどんな対応をしていたか、経験を通して伝えたい。
作業治療学Ⅱ(精神障害)(講義)	中村千紘	30	必修	講義	3	精神科病院において、病棟作業療法、訪問看護、デイナイトケアを担当する。その後、メンタルクリニックにてデイケアの立ち上げを精神科作業療法士として実施した。その経験をいかし、精神科の基礎知識についての講義授業を担当する。
作業療法概論(研究法)	中村千紘	30	必修	演習	3	大学院での研究経験や、精神科での臨床経験を活かした研究発表、学校における教員としての研究発表をもとに学生に研究についての基礎と発表までの工程を伝える。学生が実施できるように指導し、理解できる講義を実施する。精神領域、高齢者領域の老人保健施設と身障領域での勤務経験から作業療法士になるために必要な専門知識、技術の修得を指導する。
作業治療学Ⅱ(精神障害)(実習)	中村千紘 齊藤清貴	45	必修	実習	3	精神科病院、メンタルクリニックにおいて精神科作業療法士として勤務する。その経験をいかし、精神科の評価について講義と面接等の実技を含めた授業を実施する。(中村)精神科作業療法士としての勤務、管理者を歴任してきた経験から精神科作業療法の実践的な講義を行います。(齊藤)
義肢装具学(講義)	廣島淳	30	必修	講義	3	医療機関等で義肢装具士として、現在も活躍中である非常勤講師が、体験談などを交え、義肢装具の概要を講義し、国家試験に必要な知識を学ぶ科目である。
検査・測定法Ⅰ(演習)	吉田準	30	必修	演習	3	評価、評価結果のまとめ、作業療法プログラムの実施、再評価、対象者の状態の変化、新たなプログラムの実施、といったサイクルで、現場の作業療法サービスの提供は進んでいく。そのための第一歩としてできるだけ実践的な授業を行いたい。
合計		330		時間		